

2025年4月2日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号: 05F1120012	Y・N	高知県在住
------------------	-----	-------

■ 受検のきっかけ

- ① 現職において、相談者の多様性と相談内容の複雑化を日々痛感している中で、より良いキャリアカウンセリングが提供できるようになりたいからです。
- ② 自分とは異なる価値観や視点、対応力や支援力を持つキャリアコンサルタントを目の当たりにする機会が増えたことで、キャリアコンサルティングを深く学びたいと思ったからです。
- ③ 求職者や学生の相談に限らず、職業訓練校や企業内など幅広い分野、領域での活躍を強化したいからです。

■ 学科試験対策

過去問を利用して出題傾向の分析と選択肢一つ一つを理解することに時間をかけました。間違っている選択肢の場合は、正しい内容を追求しました。1級、2級、国試の各過去問を、①理論系②キャリア実務③教育・学習④労基・制度⑤白書・調査系⑥その他などに分類し、選択肢内容を出題書籍や資料、インターネットを利用して調べました。

■ 論述試験対策（1級キャリア技能士の会で学んだ講座）

- ① 添削指導個別レッスン(在宅)
- ② 1級実技(論述・面接)試験対策
- ③ オンライン1級論述対策 10点アップ一夜漬け講座

記述方法やそれぞれの質問では何を問われているのかを学びました。それ以外にも私は、「時間が足りない」という課題克服のため、問題を早く読み、その内容を早く理解することも意識して取り組みました。新しい出題問題以前の過去問も利用して、試験時間を-5分で設定して必ず計測しながら解答するようにしました。

■ 面接試験対策(1級キャリア技能士の会で学んだ講座)

- ① オンライン1級キャリア塾(エッセンス講座)スポット受講
- ② 1級講座直前講座「これだけ覚える1級対策動画教材」
- ③ 1級面接試験直前 講師が事例相談者役となり成功体験するオンラインロープレ

1 級試験の構造化を理解することは受験当初から時間がかかっていましたが、1 級キャリア塾講座を通じて徐々に理解が深まりました。30 分間のロープレ時間の中で意識するポイント、またそのロープレと連動する 10 分間の口頭試問では試験官にどのような点を評価されているのかを講座の中で、丁寧に指導してもらいました。受検生同士のロープレでは指導者役だけでなく、事例相談者役に関しても自分で設定した役をしっかりと演じることで事例指導者からの「承認」の有無を実体験しました。講師が事例相談者役になるという講座では、ロープレする中で、講師から「承認」されることの意味を実感することができました。私にとってこれらは、大きな気づきでした。

■ 今回の面接試験を振り返って

今回は、事例相談者の問題点を探すのではなく、事例相談者が相談者のために取り組まれた対応の中から「承認」できるところをまずはたくさん探そうと思って挑みました。

丁寧に「承認」できたことで、自然な一般化ができ、どんどん関係構築が深まっていくことが実感できました。その結果、目標設定も納得度の高い合意を得ることができ、方策(レッスン)も私からの一例を根拠も加えて提案しながら、事例相談者にもできそうなものがないかと一緒に考えていただくことができました。

口頭試問ではロープレ中「事例相談者に伝わった」という手応えを感じた対応が幾つかあったのでそれをそのまま伝えました。終わってみて、いつも対策講座で講師の方から聞いている「承認」が的確にできたことで合格に繋がったと思います。

私のように何度か受検されている方には特にお伝えしたいです。面接試験対策として受検者同士のロープレに加え、講師が事例相談者役ロープレの講座受講も私はお勧めします。できなかった自覚も、できた実感も受検には必須だと思うからです。受検料、各対策講座受講料、勉強時間の捻出、そしてモチベーションの持続と奮励努力を、されている方も多いのではないのでしょうか。「合格」を手に入れるまで、どうか諦めないでください。

以上